

VLBI 科学諮問委員会 第 15 回 議事要旨

日時 2025 年 10 月 27 日（月）10:00—11:10

出席者（敬称略）今井、小山、高橋、西村、秦、藤澤、町田

廣田、本間（オブザーバー）

欠席者（敬称略）三澤

開催方法 Zoom

議事

（１）JCMT 支援に関する答申について

今井委員長より、前回委員会以降にまとめた答申案(資料 3_JCMT に対する予算措置に関する提言_251027.pdf)及び 9/23 実施のアルマ科学諮問委員会(JSAC)メンバーとの合同意見交換会メモ(資料 4_VLBI-SAC+ALMA_SAC_共同検討会メモ.pdf)に基づき説明を行い、意見交換を行った。そこで、答申案について意見がある委員は後日委員長へコメントを提示することとなった。11/7 における VLBI 懇談会シンポジウムにおける委員会活動報告を通してコミュニティにも提案し意見を求め、合同

意見交換会で約束した通り JSAC にも事前に答申案を提示した上で、最終的に答申を提出するという段取りが確認された。

(2) EAVN共同利用観測のあり方について

廣田オブザーバーより、前回委員会で検討事項とされたVERAのK/Qバンド同時受信用準光学系の常時運用化における技術的課題についてのまとめ(資料5_KQ同時受信装置常設の検討結果.pdf)について説明が行われた。そこで挙げられた主な重要な点として、K/Qバンド同時受信用準光学系を常設すると、86GHz帯受信機を使った観測や2ビームアストロメトリなど、多くの観測モードが実施できなくなることが指摘された。この準光学系はそのままでは常設運用できないので、常設するのであればそれに耐え得る設計に変更が必要であることが確認された。なおこの点について、コミュニティーに向けて説明する必要があること、さらにこれは、今後VERA 2ビームモードをいつ迄運用し続けるのかという問題提起にも絡むことであることも指摘された。

(1) 観測所の近況について

本間所長より、人事異動(確定分)・来年度予算の見通し、BHEX進捗、等について報告があった(資料6_所長報告_251027.pdf)

(2) EAVN TAC (2025A, 2025B期)報告

廣田オブザーバーより、VLCOP(2025—2026シーズン)及びEAVN共同利用観測(2025B期)における提案書審査の結果について報告された(資料7_VERA EAVN共同利用状況.pdf)。